

第 2 学年 2 組 社会科 (地理) 学習指導案

平成 30 年 6 月 27 日

指導教諭

授業者

㊦

1 日時 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 第 3 限 (50 分) 2-2

2 単元名 7 節 北海道地方

3 単元の目標

- ・北海道地方を概観し、自然や人々の生活の特色を知る。
- ・厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた開拓の歴史を考える。
- ・石狩平野、十勝平野、根釧台地では、その土地の自然的・社会的条件に最も適した農産物が生産されており、大規模な農業が行われていることを知る。
- ・北海道の現状と課題を明らかにしたうえで、「10 年後の北海道をより魅力的な町にするには、どうしたら良いか」をグループで考え、表現する。
- ・調べたことに関する自らの見方や考え方を自分の言葉で論理的に説明することができる。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象への 知識・理解
北海道の地理的位置、地形や産業に関心をもち、意欲的に調べている。	北海道の地理的位置、地形や産業について、学習課題や予想、学習計画を考え、表現している。	資料を積極的に活用し、論理的な思考・判断ができ、多様な観点から考察する態度・能力を身につけている。	北海道の地理的位置、北海道全体の地形や産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置を理解している。

5 教材観

日本の国土は、南北に長く四季に富む。そのため、地方によって季節の様子や違いがはっきりしていてそれぞれの地方の特徴にもなっている。

北海道は最北端の都道府県であり、周りを太平洋、日本海、オホーツク海の三海に囲まれる島である。人口は約 562 万 7000 人で日本人口の約 4.6% を占める。寒さが厳しい北海道で本格的な開発が進んでいったのは明治時代以降であり、1869 年に蝦夷地から「北海道」となった。この名称は松浦武四郎が東海道、南海道、西海道に対応した地名として命名した「五畿七道」に由来する。中央部には天塩山地、北見山地、石狩平野、日高山脈が走っている。北海道の約 7 割が森林面積で、自然環境に恵まれる台地である。

主な産業は十勝平野でとれるジャガイモを中心とした「畑作」、石狩平野、上川盆地を中心とした「稲作」、道東の根釧台地を中心とした「酪農業」、函館や根室、釧路、オホーツク沿岸などを中心とした「漁業」が有名である。また、食品加工・紙パルプ製造業などの「工業」も盛んで、特に苫小牧から札幌にかけては代表的な工業地帯となっている。産業別人口構成は第一次産業 8%、第二次産業 22%、第三次産業 69%、その他観光リゾート産業も多く、最近ではさらに情報処理など情報産業といった分野で急成長が見られる。

石炭は、かつて炊事や暖房の燃料として家庭内でも使用されており、蒸気機関車の燃料やナイロンなど化学工業製品として重要な役割を果たしてきた。これらの役割の多くが石油に転換してからは、日常生活で石炭を目にすることはほとんどなくなった。しかし、現在でも発電や製鉄に使用され、非常に重要なエネルギー源であることに変わりはない。夕張市は、かつて炭鉱都市として栄えていたが、第二次世界大戦後に石炭産業が衰え、財政が悪化した。そのため観光を振興し、特産品を作ることで町おこしをしているが、現在も経済的効果には至っていない。

こうして、北海道地方の雄大な自然環境やそれらを生かした産業に注目し、各地域における特色を捉えさせ、地理的諸条件が関連しあって作用していることを自然的条件と社会的条件の両面から関連付けて理解させる。また、どのような要素で結びついているのかという視点が重要になるため、その視点として人口、産業、情報、交通などの観点から様々な事象を身近な生活との関わりに触れ、生徒の関心を高められるような学習を展開していく。

6 生徒観

本学級の生徒は、全体的に元気で賑やかなクラスである。

社会科の授業においては、真剣に集中して取り組んでいる。社会科についての興味・関心や知識・理解能力に多少の個人差はあるものの、しっかりと耳を傾け、一生懸命に活動している。

一方、資料活用能力や思考力・判断力・表現力においては個人差が大きく、継続した指導の工夫が必要である。また、事象の因果関係を自分の言葉で説明することや必要な資料を関連付けて分析する能力、漠然と分かっていることを論理的に言葉で表現する能力が不十分である。

全員が授業に参加できる雰囲気を作るため、個人対教師で終わるのではなく、クラス全体で課題を共有できるようにしたい。こうすることで、一人ひとりが学びの楽しさを実感できるものとする。

7 指導観

問題の発見から追究・解決に至る問題解決的な学習を取り入れ、主体的に学習に取り組ませ、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めていきたい。問題解決的な学習過程において、特色的なものが「調べて、それをもとにして考える」活動である。調べたことに対する自らの見方や考え方をもち、その考えを全体で議論し、練り合うことでさらに考え方が深まっていく。そのため、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるように、学習内容を構造化して獲得させた知識を明確にし、それらを学習過程に位置付けた問題解決的な学習を展開していく。特に導入では生徒のイメージが湧きやすいよう写真を効果的に用いたり、グラフを積極的に活用して、生徒が自ら考える機会を設けたい。

8 本単元の指導計画

- ① 北海道地方の自然環境 (P256～257) ... 1時間
 - ・雄大な地形と景観 ・亜寒帯に属する北海道
- ② 厳しい自然環境を克服した開発の歴史 (P258～259) ... 1時間
 - ・屯田兵による開発 ・「寒さに強い米」からより「おいしい米」へ
- ③ 大規模化してきた畑作や酪農 (P260～261) ... 1時間 (本時)
 - ・広大な土地を生かしてきた畑作 ・すずしい気候のもとで発展した酪農
- ④ 歴史や北国の自然を生かした観光業 (P262～263) ... 1時間
 - ・歴史ある町なみを生かした観光業 ・計画的につくられた都市、札幌
 - ・豊かな自然を生かした観光業

9 本時の指導計画

(1) 本時の目標

- ・石狩平野、十勝平野、根釧台地では、その土地の自然的・社会的条件に最も適した農産物が生産されており、大規模な農業が行われていることを知る。
- ・調べたことに関する自らの見方や考え方を自分の言葉で論理的に説明する。

(2) 使用教材

教科書『中学生の地理』 帝国書院 P258～261

地図帳『中学校社会科地図』 帝国書院

(3) 本時の展開

過程	時間	教師の指導・支援	生徒の活動	備忘
導入	5	北海道と聞いて、どんな食べ物が思いつきますか？	(予想される意見) じゃがいも チョコレート(白い恋人) 米 シャケ 札幌ラーメン チーズなどの乳製品	写真
展開1	20	北海道で行われている農業の特色を理解しよう！	(予想される意見) … 川が流れている 田畑？ 米、小麦 (稲作) … 川はない 畑？ じゃがいも、たまねぎ はくさい (畑作) その他 … 牛 放牧している 乳用牛、肉用牛 (酪農)	石狩平野 写真
		写真を見せる(石狩平野) どんな特徴が読み取れるか。 産物は何か。		十勝平野 写真
		写真を見せる(十勝平野) どんな特徴が読み取れるか。 産物は何か。		根釧台地 写真
		写真を見せる(根釧台地) どんな特徴が読み取れるか。 産物は何か。		地図帳P163
		地図帳P163から探すよう促す。		
展開2	15	ここから、どういう事が読み取れるでしょうか。	(予想される意見) …それぞれの場所で産物が違う …いろいろなものが取れる。 …北海道は、面積が大きいから。 気候が違うから。	大規模農業 適地適作
		なぜでしょうか？		
まとめ	5	本時について考えたことをノートに書くよう指示する。	感想を書く。	

(4) 本時の評価

- ・石狩平野、十勝平野、根釧台地では、その土地の自然的・社会的条件に最も適した農産物が生産されており、大規模な農業が行われていることを理解できたか。
- ・調べたことに関する自らの見方や考え方を自分の言葉で論理的に説明することができたか。